

00:13 N 平成21年度、

東京都立多摩職業能力開発センターを修了した

にしかわ こうき

西川 広記さん。

現在は、旭化成ホームズが建築している、

ヘーベルハウスの給排水工事から

衛生機器の取り付けまでを担当しています。

00:36

(職業能力開発センターのカリキュラムについて)

実際に現場に出ている職人の方が講師として来てくれ

るので、(現場で働く際の)アドバイスやコツなど教えて

くれていますね。「継手の飲み込み」の寸法とか図面の

1/3

見方とかもありましたし、材料の名前などを教わりまし

たね。何ミリとかのけっこう細かい作業になるので、大

変だなとは思いました。

(在校当時の思い出)

技能オリンピックの予選に出て予選を突破して全国大

会に出場したことです。学校でも練習させてもらった

ので、なんとなく大丈夫そうだなというのはありました

ね。

01:25

N

ぎのうごりん  
技能五輪全国大会出場など

専門技術を身につけ活躍する

西川さんに対して職場の上司は…

01:33

(ON) この給排水の仕事というのは、現場の色々な工程に左右されますので、忙しい時は非常に忙しいです。やはり1年間給排水を学んできてるというところが非常に大きいですね。早く現場に馴染める。また、図面とか給排水の基礎知識をわかっていますから、非常に助かっています。これからは、西川君よりも若い新人がどんどん入ってきます。そういう中で会社の中核となって、若手を引っ張ってってもらいたいというふうに思っております。

2/3

02:11

N

会社の中核としての更なる成長が期待される西川さん。

この先の目標は？

02:19

(ON)

自分のいる会社もまだそんなに歴史が深いわけでもなくて、これからどんどん発展していくと思うので、会社の発展に貢献できればと思いました。

02:37 N 自身の経験をもとに

東京都立職業能力開発センターへの応募を

考えている方々へ西川さんからのメッセージです。

(2:49) (ON) 1年間職業能力開発センターで勉強すれば、会社

に入ってもすごく役立つと思うので、もし進路に

ついて迷っている方がいれば、候補の一つとして

考えてみてください。